

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 1 部門第 2 区分
 【発行日】令和 2 年 5 月 7 日 (2020.5.7)

【公表番号】特表 2019-507637 (P2019-507637A)
 【公表日】平成 31 年 3 月 22 日 (2019.3.22)
 【年通号数】公開・登録公報 2019-011
 【出願番号】特願 2018-545422 (P2018-545422)
 【国際特許分類】

A 6 1 F 13/42 (2006.01)

A 6 1 F 13/53 (2006.01)

A 6 1 F 13/15 (2006.01)

A 6 1 F 13/51 (2006.01)

【 F I 】

A 6 1 F 13/42 F

A 6 1 F 13/53 3 0 0

A 6 1 F 13/15 3 5 7

A 6 1 F 13/15 3 2 0

A 6 1 F 13/15 3 5 5 Z

A 6 1 F 13/51

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 2 年 3 月 30 日 (2020.3.30)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項 9

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項 9】

前記可撓性電極はカーボン導電性インクで前記可撓性防水フィルムに印刷してなる尿濡れ誘導ラインを備えることを特徴とする請求項 8 に記載の電子感湿吸収性物品。

【誤訳訂正 2】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 1 3

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 1 3】

前記可撓性電極はカーボン導電性インクで前記可撓性防水フィルムに印刷してなる尿濡れ誘導ラインを備える。

【誤訳訂正 3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 4 4

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0 0 4 4】

具体的に、電子感湿吸収性物品 1 0 は、一般的に使い捨て紙おむつ又はシートタイプの紙おむつを指し、パッドタイプの紙おむつ、生理用ナプキン又は他の使い捨て衛生吸収製品にも適用できる。可撓性防水フィルム 1 1 は一般的に柔らかくて無毒であるポリエチレンフィルム（PE フィルムと略称される）で製造され、一般的に使用される PE フィルムは通気性フィルム及び非通気性フィルムの二種を含み、通気性フィルムは常に乳幼児向け

紙おむつに用いられるが、非通気性フィルムは常に大人向け紙おむつに用いられる。可撓性防水フィルム 11 の片面に少なくとも 2 本の可撓性電極 12 を設置し、それは一般的にカーボン導電性インクで防水フィルムに印刷されており、アルミホイル、ワイヤ等の材料を防水フィルムに複合していてもよく、これらの材料はいずれも可撓性を有し、製品の柔軟性及び使用に影響を与えない。人体又は液体が電極に接触して電極間が短絡することを防止するために、可撓性電極 12 に更に一般的に柔らかい不織布、熱風不織布又はスパンボンド布等の材料である可撓性絶縁保護層 13 が被覆（又は複合）される。